

山本かずひろ

活動レポート ACTIVITIES REPORT

事務所 〒630-8325 奈良市西木辻町121-2-302 Tel&Fax.0742-26-2026 <http://yamamoto-kazuhiro.com/>



須川ダムや導水路

「老朽化施設の早期整備を」 市「導水路複線化も検討」

奈良市議会の山本憲宥は、昨年の市議会12月定例会の一般質問に登壇し、県の県域水道一体化の呼び掛けに伴う奈良市の今後の上下水道事業などについて市の考えをたずねました。また市東部地域の観光戦略について質問・提案を行いました。また市議会6月定例会では新型コロナウイルス感染症拡大で大きな打撃を受けた市内の各事業者へ積極的な発注を求める経済対策の提案も行いました。わたしの議会活動を報告いたします。

昨年は、国の緊急経済対策をふまえながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止策および「特別定額給付金」をはじめとする個人への支援と、経済対策を実施し市内経済の活性化策を講じてきたところです。

また医療体制の充実にも取り組んでまいりました。市役所全体で市民の皆さまの命を守る取り組みを進めています。特に保健所では昨年1月末以来、24時間体制で問い合わせに対応しています。

感染が疑われる事例が発生した際には、詳しい行動履歴や症状に



高度経済成長期に市西部の開発が進むと、人口が増加し、水道用水を貯水するための専用貯水池として建設したのが須川ダムⅡになります。



課題について、市の考えを聞きまし

市は「昭和44年の建設から51年が経過しており、この間、施設の点検や補修、更新を行うなど、ダムの保持に努めてきた。大規模地震に対する耐震性はダム本体で確認できず、取水塔で十分な耐震性は確認できず、この対策が今後の課題になる。この他、貯水池から放流に用いるローラーゲートの老朽化や貯水池への土砂の堆積などへの対策が課題」との答弁がありました。

これら須川ダムの課題に加え、水を輸送する導水路は、布目ダムー白砂取水場ー須川ダムー緑ヶ

県域水道一体化

市は「整備費にメリット」

県が28の市町村に呼びかけている県域水道一体化に向けた今後の整備について、県は令和7年度から16年度に緑ヶ丘浄水場の導水路の更新などを行う計画を持っています。これらの整備費用(約164億円)について、一体化した場合に市にメリットがあるのか、また広域化に参加しない場合を確認しました。

市からは「市が単独で行う場合は国から交付金が出ない(現状、経営状態が悪くないため)が、一体化の場合は事業費の3分の1、約55億円の交付金を得られる」との回答があり、今後の整備については

国交省、財務省へ来年度の予算要望

わたしが所属する自民党奈良市議会・結の会は昨年10月20日に市長および市担当部局と上京し、国土交通省と財務省に来年度の予算における要望を行いました。奈良市1区選出の小林茂樹衆院議員にもご尽力をいただきました。

また防災や減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策の延長や拡充、近鉄大和西大寺駅前広場整備などについて社会資本整備総合交付金の要望を行いました。



丘浄水場Ⅱ図参照Ⅱまで一系統になつており、こちらも設置後53年が経過しています。わたしは、これらの導水路の点検が充分に行えていないことを指摘しました。また災害時などへの不安を指摘しました。市からは「導水路が一系統であ

るため、構造上水を止めて点検ができていない」との答弁がありました。加えて、「今後は導水路の複線化も見据えた計画的な更新が課題になる」との回答があり、わたしは一日も早い計画策定を求めました。

市民への説明責任を

わたしは、これら一体化への参加判断について市にとつてのメリット、デメリットを明確化し、市民への説明責任をしっかりと果たすよう強く要望しました。また水道料金の変化は、正確な根拠に基づいた今後の料金シミュレーションを示すよう要望しました。



市東部の観光振興求める

人気アニメで柳生に注目集まる

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、新しい生活様式に合わせた安心・安全な観光スタイルの模索が続いています。そんな中、人気アニメ「鬼滅の刃」をきっかけに、奈良市柳生地区が注目を集めています。作中のワンシーンを思わせる「二刀石」(柳生町)への訪問が人気を呼んでいます。市議会12月定例会では、市東部地域の観光活性化について、市の考えを聞ききました。

柳生町にある「二刀石」は、石舟斎(柳生宗厳)が修行中に天狗と試合を行い、一刀で天狗を切り捨てたところ、巨石が真二つに割れたという伝承が残っており、これが人気アニメのワンシーンを再現できると、昨年11月の3連休には県内外から多くの人が出でにぎわいました。写真1参照。これを機に、さらなる振興施策の充実を求めました。

注目を集める市東部の観光活性化については「柳生観光の活性化についてはウエブサイト」ならのはるをめぐして」での情報発信や民間事業者と連携した「さやま民泊」に取り組んできた。ウィズコロナ時代の観光において、三密を避けてゆつくりと過ごせる東部地域の魅力であり、柳生をはじめ東部地域全体の観光振興という視点で、庁内部署



コロナ禍の経済対策

発注は市内業者を優先

市議会6月定例会では、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて大きな経済的打撃を受ける市内業者に対し、経済の活性化や育成の観点から優先的発注をより考慮することを求め、一般質問で市の考えをたずねました。

市は、新型コロナウイルス感染症およびそのまん延防止措置により、多くの業種・業界に経済的な影響が市内にも及んでいることを認識しているとし、今回のコロナ禍における地域経済の立て直しと地元企業の育成を目的に市内業者優先発注に取り組んでいく考えを示しました。

可能な限り市内業者を優先する 本年度の実施方針

- ①原則として、市内業者の選定を優先する。
- ②奈良市建設工事等入札参加資格者から選定する。
- ③技術的難易度の高い建設工事において市内業者では対応できない、または市内業者だけでは競争性が確保できないときは、事業者の有する資格、工事施工および業務履行の成績および実績、工事経歴や業務経験による施工および施工能力などを総合的に勘案して、準市内業者、県内業者、県外業者の順に対象を拡大する。

資材、物品調達においても市内業者に発注を優先、また物品の購入も同様に市内業者を優先、市が行う各種行事の記念品などの発注も

や地域団体と連携し、このにぎわいを保持していけるよう施策を検討していく」回答がありました。また同時に、東部地域の振興の一翼を担っていたらいいという6カ所の直売所による「Tobu高原マルシェ」写真2参照も昨年はにぎわいました。市からは、用意された

市内で生産、製造、加工されるものなど、可能な限り市内業者を優先する本年度の実施方針を公表し、競争性と透明性を担保しつつ、運用されます。

フードドライブ実施 支援必要な施設などへ

コロナの影響で不足の献血も

切っ掛けはいけないうつながりやを大切に。有志で組織する「リコネクト奈良実行委員会」は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた人に届ける食料を募る「フードドライブ」を昨年8月にコンベンションセンターで開催し写真参照(実行委員 山本憲育)しました。同時に新型コロナウイルスで不足している献血も募りました。



商品が早々に売り切れ、通常の3倍を用意するなど盛況だったとの報告があり、「市街地や東部地域における定期的な開催を継続すること」で、市街地と東部地域の皆さまの交流がより一層図られるよう取り組んでいきたいと、さらなるサポートの約束がありました。

〇法人フードバンク奈良を通じ、支援を必要としている福祉施設や団体、10月に実施されたひとり親家庭を対象とするフードパントリーに活用いただきました。開催を通じて、献血には37人、骨髄バンク登録には13人、フードドライブへの寄付は71人(2セットラック1台分)のご協力をいただきました。

プロフィール

<奈良市議会>

- 〇市民環境委員長
- 〇奈良市監査委員

<役職(現職)>

- 〇奈良市消防団東里分団団員
- 〇奈良教育大学付属小学校教育後援会「つめくさ会」会長
- 〇特定非営利活動法人なら燈花会の会顧問
- 〇全日本少年硬式野球連盟奈良ヤング顧問
- 〇近畿地区防衛協会青年部連絡協議会直前会長
- 〇奈良県防衛協会青年部顧問
- 〇奈良県防衛協会常任理事

<役職(元職)>

- 〇奈良ルーテル保育園若葉会会長(平成17年度)
- 〇奈良市立済美小学校PTA会長(平成22・23・24年度)
- 〇一般社団法人奈良県建設業協会青年部監事(平成23・24年度)
- 〇一般社団法人奈良青年会議所第52代理事長(平成23年)
- 〇NHK奈良県視聴者会議委員(平成23年)
- 〇奈良公園地区整備検討委員会委員(平成23年)
- 〇奈良県防衛協会青年部会長(平成26・27年度)
- 〇奈良県立郡山高校野球部保護者会会長(114期生)
- 〇近畿地区防衛協会青年部連絡協議会会長
- 〇リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議顧問

<自由民主党>

- 〇奈良市支部副支部長
- 〇奈良県第一選挙区支部副政調会長
- 〇奈良県第一選挙区支部青年局長(平成24年~30年)

SNSでも日々の情報を発信しています。



平成25(2013)年夏の市議会議員選挙での初当選から約7年半がたちました。この間、議会でさまざまな仕事をさせていただきましたが、昨年6月の役員改選で、市民環境委員長に就任いたしました。

市民環境委員会は、市民生活・文化、スポーツ等に関する事項、また、環境政策や、まちの美化推進など、行政において市民生活に直結した事項を所管しています。

併せて監査委員に就任いたしました。監査委員は、市長の指揮監督を受けない独立した執行機関として明確に位置づけられており、税金が正しく使われているか、市の予算執行や契約などの財務に関して、事務の執行や経営にかかる事業の管理などについて監査するものです。

共に重責ではありますが、奈良市政推進のため全力で取り組んでまいります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆に、新型コロナウイルスの影響により不自由な生活が続き、いまだ収束は見えていません。皆さまも体調管理には十分ご留意のうえ、ご自愛ください。

